

# ケニア総選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年6月現在)



## 【ケニア総選挙】

- ・ 選挙運動期間 : 5/28 ~ 8/5
- ・ 投票日 : 8/8
- ・ 公式結果発表 : 8/15まで
- ・ 新大統領就任式 : 8/29  
(9月、10月に、ずれ込む可能性あり)

## 在ケニア日本国大使館

住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,  
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000

FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>

たびレジ

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

## ☆ 平時に準備しておくこと

### 1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

### 2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

### 3 携帯電話

- 平素から携帯電話をフル充電して下さい。
- 十分なクレジットを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

### 4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

### 5 備蓄

- 水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。  
備蓄品例
  - ・ 飲料水: 1人当たり1日3リットル
  - ・ 主食: 米、パスタ、麺類等
  - ・ ノードル等インスタント食品
  - ・ 缶詰等
- トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。  
停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

### 6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

### 7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

### 8 緊急事態時の持ち出し携行品

- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

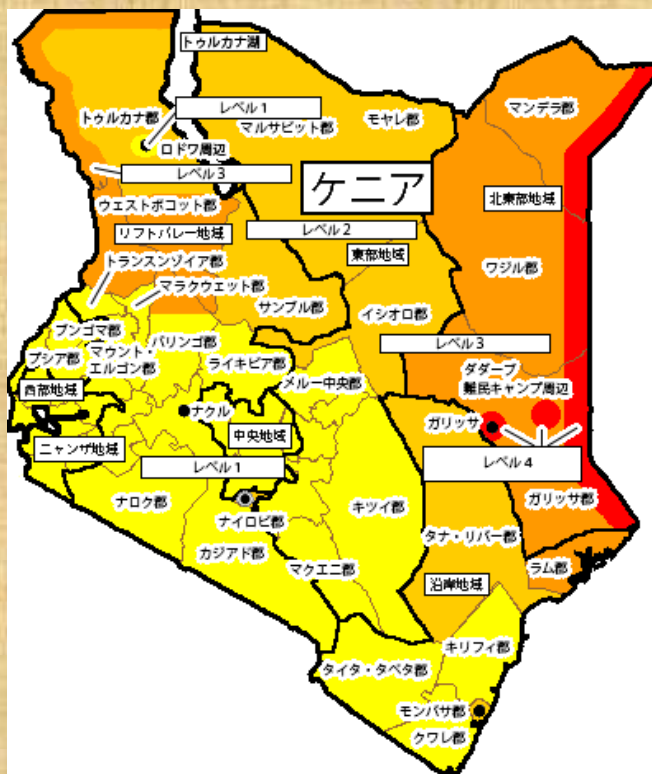


## ☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実に行う。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら…
  - ・伏せる→逃げる。
  - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない(第2波攻撃のおそれ)。
- テロ事件発生時は、外出を避ける(同時多発テロのおそれ)。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

## ☆ 暴動に巻き込まれたら…

- 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

## ☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

### 【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会  
(対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

### 【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加  
(対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

### 【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。  
(対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

### 【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。  
(対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

### 【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。  
(対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。